

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 6 月 13 日(2022.6.13)

【公開番号】特開 2021-171009(P2021-171009A)

【公開日】令和 3 年 11 月 1 日(2021.11.1)

【年通号数】公開・登録公報 2021-053

【出願番号】特願 2020-78911(P2020-78911)

【国際特許分類】

A 0 1 K 87/06(2006.01)

A 0 1 K 87/08(2006.01)

10

【F I】

A 0 1 K 87/06 B

A 0 1 K 87/08 B

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 3 日(2022.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

以下、本発明に係る釣竿の実施形態について、添付図面を参照しながら具体的に説明する。複数の図面において共通する構成要素には当該複数の図面を通じて同一の参照符号が付されている。各図面は、説明の便宜上、必ずしも正確な縮尺で記載されているとは限らない点に留意されたい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

図 1 は、本発明に係る釣竿の一実施形態を示す図である。図示のように、本発明の一実施形態による釣竿 1 は、竿体 2 と、竿体 2 に釣竿用リールシート 9 を介して取り付けられたリール 6 と、竿体 2 に取り付けられた釣糸ガイド 10 と、を備える。図示の実施形態においては、釣竿用リールシート 9 及び釣糸ガイド 10 の各々が、竿体の外周面に取り付けられる取付部品に該当する。また、図 1 では、リール 6 としてベイトリールが設けられているが、リール 6 としてスピニングリールが設けられるようにしてもよい。

【手続補正 3】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

リールシート本体 12 のリール脚載置部 12 a は、平坦または、リールシート本体 12 のリール脚載置部 12 a に隣接する他の周方向の部位（例えば握り部 12 b）よりも大きな曲率をもって略平坦に形成され、かつ、図 2 および図 3 に示す上側にリールシート本体 12 の軸方向に延びた状態に形成されている。リールシート本体 12 は、一端（竿先側）に固定フード 14 が一体的に配設されている。リールシート本体 12 のリール脚載置部 1

50

2 a の一端は、固定フード 1 4 の内部に配設されている。

10

20

30

40

50